

大阪の福祉を知る

みんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.158

2025年10月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

高校で「福祉」を学ぶ

～学びとこれからの未来に向けて～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



高校で「福祉」を学ぶ ～学びとこれからの未来に向けて～



「福祉を通じて、持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成をめざす」という観点から、1999年の学習指導要領の改訂で、教科「福祉」が告示され、2003年から実施されました。これをきっかけに高校で福祉を学ぶことの意義が注目され、全国には、福祉を高校で学んでいる生徒たちがいます。

多世代交流を広める コンテンツとして期待

今回、この特集を取り上げるにあたり、実際に福祉を学んでいる高校生に話を伺って気づいたことがあります。高齢の家族がいたり、介護職や、保育士・幼稚園教諭の姿から学んだりなど、話を聞いた全員が「福祉の大切さを身近な人から知ったこと」が、福祉を学びたいと考えたきっかけになっていました。

また、高校の福祉科で介護や、保育・幼児教育について学ぶ生徒たちは、介

超高齢化社会にある我が国では急激な人口減少が続き、2050年には人口が今よりも約2,000万人以上減り、高齢化率も約39.6%に上昇すると予想(※1)されています。一方、共働き世帯は2020年の時点で1,240万世帯と、15年前より約1.25倍増加し(※2)子育て支援の充実が求められる状況となっています。

つまり、高齢者増加に伴う介護や、保育・幼児教育に携わる福祉職の人材確保が、今後の我が国の喫緊の課題であることに間違いありません。

そこで、今回の特集では、「福祉」を学ぶことができる高校について取り上げます。高校で専門性の高い福祉について学び、国家資格をめざすことにどんな意義があるのか。介護、保育・幼児教育の各分野で福祉教育を行う高校の現状を取材し、この分野に詳しい専門家に話を伺いながら考えていきます。

※1:「我が国における総人口の長期的推移」(総務省:2011年)による

※2:2021年版厚生労働白書 共働き等世帯数の年次推移による

護職や、保育士・幼稚園教諭といった仕事に必要な知識の習得はもちろん、実際の現場を実習として体験します。そこで、その仕事の意義や重要性を実感していることが取材でも確認できました。このことは、福祉を学んだ高校生の多くが、その後の進路として介護職や保育士・幼稚園教諭をめざしたり、希望しているという研究結果にも表れています。

このような高校生たちがいる一方で、現状を見ると、少子化により高校の統廃合が進み、福祉を学びたいという高校生の数も減り、苦しい状況になりつつあります。大阪府内で見ても「福祉科」のある高校は、公立では1校とのみとなり、福祉や保育に関する専門コースを持つ高校も多くはありません。

当事者のニーズに応える 支援の学びと実践

今後も、社会構造の変化により、介護や保育・幼児教育の人材が求めら

れる状況は続き、政策の充実が求められます。このことについて、我が国の教育分野において、さまざまな提言をされてきた菅さん(P4に掲載)は、「福祉業界は、これから注目されるべき成長産業になり得ます。政府、自治体、業界が一体となって、福祉を学ぶ高校生を含めた人材育成についての政策を進めていくことが求められます」と話します。

介護は、生きている限り、いつかは直面する現実です。人生の集大成である高齢期において、尊厳を守っていく仕組みをつくる取組みを進めなければなりません。また、子育て支援の充実、子どもたちに豊かな人間性を育む環境を保障していくことにつながります。

福祉の重要性を感じ、学び始めた高校生たちは、どのようなことを学び、どう感じているのか、次ページより紹介します。

介護福祉士をめざす生徒たちが、校内の施設に行う入浴実習の様子



保育や幼児教育を学ぶ生徒たちが、教室でピアノレッスンを受けるようす
(写真提供:城南学園高等学校)



生徒の声をきっかけに生まれた、 府内公立唯一の介護福祉士養成校

大阪府立淀商業高等学校校長 高井 一男さん



淀商業高等学校は、大阪府内の公立高校で唯一の介護福祉士養成校として、2003年度から「福祉ボランティア科」を開設しています。活動の状況などについて、校長の高井さんに伺いました。

この福祉ボランティア科が開設されたきっかけは、1995年に起きた阪神淡路大震災で、被害の状況に接した生徒たちから、福祉やボランティアを学びたいという声が上がったことでした。その声に応えて1996年度から社会福祉に関する講座を授業に取り入れ、生徒の地道なボランティア活動や地域社会との連携、企業の社会貢献などの支援もあり、授業の改良がなされてきたとのこと。2003年度に学習指導要領に教科「福祉」が加わったこともあり、大阪市の特色ある学校づくりの一環として「福祉

ボランティア科」が開設されました。

学びや取得した資格を活かし、地域のリーダーに

同科では、普通科目に加えて、国家資格である「介護福祉士」の取得に向け、専門的な科目において、当事者の生活状況や、さまざまな福祉サービス、制度などについて学んでいます。福祉の現場で必要となるコミュニケーション技術や介護技術の習得をめざして、介護現場などでの実習や、利用者の状況把握やケアプランの作成などにも取り組みます。

「生徒一人ひとりが、学んだことを今後の人生に活かし、「地域社会における市民のリーダー的存在」として活躍してほしい」という願いを込めて教育されているとのこと。

同校の2022年度～2024年度の介護福祉士の資格取得率は、約99.1%。1年次から3年次まで同じ福祉科の教員が担当し、生徒の習熟段階に応じた指導を徹底。現場の職員の方や利用者の方の協力のもと、介護実習を経験し、その後のレポートやアン

ケートで振り返ることで、介護福祉士の仕事の魅力や、やりがいについての学びを深めています。

入学する段階から福祉職をめざし、目的意識が高い生徒が多いのも特徴。「家族など身近な人が医療や福祉に関する職業に従事していたり、祖父母とのつながりが多い環境で育った生徒などは、資格取得だけをゴールとせず、その後の人生に活かそうという意識を持っていることが多い」と高井さん。

介護職の魅力を発信し、人材育成に尽力

現状の課題は、少子化の影響もあり、入学者数の減少や福祉系授業を開講する学校が減少していること。今後の人材育成を進めるために、若い世代へ介護福祉の必要性ややりがいの両面を実習報告会などで広く発信し、介護福祉の分野の問題提起と解決策を見出せる学びを、他学科と協力して取り組んでいきたいとのことでした。



▲福祉用具を使った、「持ち上げない介護」の実習の様子

生徒のみなさんに聞きました！

大阪府立淀商業高等学校
福祉ボランティア科2年生 Kさん

入浴実習や障がいについての学びが貴重な経験に

介護職に従事する兄の影響で福祉に興味を持ち、介護福祉士の資格を取得すれば将来安定した仕事に就けると考え、福祉ボランティア科に進学しました。介護の学びは奥深いと実感しており、特に一人ひとりに対応するコミュニケーション技術を身につける努力をしているところです。入浴実習の授業で、機械浴を利用者の立場になって体験し、声かけの重要性や恐怖感を理解できました。また、障がいのある方がリハビリを行う理由や、病気や障がいの性質などについて学べたことも、大変貴重な経験になりました。

大阪府立淀商業高等学校
福祉ボランティア科3年生 Iさん

介護される側での実習体験が、介護を行う際の大きな学びに

祖母の介護で訪問してくださるヘルパーの方の姿を見て、福祉職に興味を持ちました。福祉の学びは、介護保険などについては難しいところもありますが、これまで気づかなかった介護の仕組みを理解できるようになり、面白いと感じています。入浴やベッドでの介助などは、外部での介護実習の際には介助する側で行いますが、授業の実習は介助される側も体験できるので、介助される側の気持ちを考えられる大切な機会になっています。

大阪府立淀商業高等学校
福祉ボランティア科3年生 Kさん

実習で失敗や成功を積み重ね、成長を実感

自分を育ててくれた高齢の祖父母と両親の将来的な介護に備えて知識を得ることが「親孝行」の一つになればと、福祉を学ぶ道を選びました。2年生以降は実習日数が増え、特に学校での実習では、福祉用具を使った移動介助の方法など、知っておけば現場で役に立つ学びが多いと感じます。また、外部や授業での実習で失敗や成功を経験したことが、自身の成長につながっていると実感しています。

保育・幼児教育の現場で活躍する人材を 高校と短大・大学が連携し養成

城南学園高等学校校長 北川 真さん



保育士・幼稚園教諭などを養成する“幼児教育コース”の取組みが注目される、東住吉区の城南学園高等学校について、学校長の北川さんにお話を伺いました。

「本校は、高校から短期大学部で最短5年、大学まで含めると7年で保育士や幼稚園教諭の資格が取得できる一貫教育を行っています」と北川さん。

1935年創設の城南学園中学校・高等学校は、今年90周年を迎えました。創設後、幼稚園、短期大学（2025年度から大阪総合保育大学短期大学部に名称変更）、保育の専門知識が得られる大学や大学院、保育園を開設。全国的にも珍しい、「保育・幼児教育の学びの場」と「仕事の場」をオールラウンドで提供する教育機関として、地域に貢献してきました。

北川さんは「1968年に短期大学に幼児教育科が開設されました。高校で行っていた保育士や幼稚園教諭をめざす生徒への指導も好評で、2000年度から短期大学との連携を深めた独自のカリキュラムによる“幼児教育コース”を作りました」と語り、保育士や幼稚園教諭を養成する環境を作り上げてきた歴史を振り返りました。

「幼児教育コース」 カリキュラムの特長

●短期大学部の単位を“先取り”

専門科目「幼児教育基礎」などの高校の授業は、大阪総合保育大学短期大学部の先生が担当。同短期大学部に入学後に単位として認められます。幼児教育カリキュラムの連携により実現した、幼稚園教諭や保育士をめざす生徒に心強いシステムです。

●ピアノレッスンブースを 18室設置

10名のピアノ講師が指導を担当。週1回の授業＋週1回の無料レッスンが可能。「最近ではピアノ経験のある生徒は

少ないですが、初心者もこのレッスンを受ければ3年間で一定レベルに達する内容になっています」と北川さん。

●インターンシップ プログラムの充実

同じ法人内の幼稚園・保育園が近隣にあり、高校1年生から実際に子どもたちと触れ合う体験実習が可能。高校の夏休み中にもボランティアで手伝いに訪れる生徒も多く、真剣に取り組む姿は、園児の保護者にも好評とのこと。「法人内の実習先で、生徒が子どもたちに慕われることは、自信にもつながり、外部での実習や研修に行く際の実践力の向上にも役立っています」と北川さん。

「幼児教育コースが合わないと感じた場合は、他のコースへの変更も可能です。将来、対人の仕事をめざすコースのため、難しいと感じて変更する生徒もいます。教育現場では教員が生徒との対話や相談を重視し、本人の希望に沿ったコース選択を一緒に考えています」と北川さんは語りました。



▲城南グループの幼稚園での体験実習

生徒のみなさんに聞きました！

城南学園高等学校3年生
幼児教育コース Tさん

学びを通して“命を預かる仕事” に就く自覚が芽生えています

小学生の頃から、子ども食堂を手伝うなど、子どもが大好きなこともあり、子どもについて学び、習ってきたピアノを活かす仕事にもつながる保育・幼児教育に興味を持ちました。授業では折り紙や、手遊び、指文字など、それまで知らなかった遊びや、子どもへの声かけの大切さなど、さまざまな知識を習得できました。授業と校外実習を繰り返す中で、保育・幼児教育に関わる仕事は、子どもと関わって楽しいだけでなく、“命を預かる大事な仕事”“一人ひとりへの対応が大切な仕事”だと、強く思うようになりました。

城南学園高等学校2年生
幼児教育コース Mさん

実習で学ぶ機会が多く、体験を 重ねて、成長を実感しています

通っていた幼稚園の先生が、明るく笑顔で接してくれたことが記憶に残っていて、私も子どもたちに元気を与えられる仕事に就きたいと考えていました。授業では保育・幼児教育についての知識をたくさん得られ、ピアノで童謡などの曲を弾けるようになるなど成長を実感しています。初めて実習に参加したとき、他の子どものおもちゃを取った子どもにうまく注意できませんでした。後に的確な声のかけ方を学び、それを後日実践できる機会があり、うまくできたことが大きな自信につながりました。

成長続く福祉業界の 人材確保は急務、小学校から 福祉の心を育む重要性

大阪総合保育大学短期大学部部长・教授
大阪城南女子短期大学学長・教授 かん まさ たか 菅 正隆さん

大阪樟蔭女子大学名誉教授、一般社団法人日本SDGs協会理事、
一般社団法人日本プログラミング検定協会理事、英語授業研究会理事



“高校での福祉系の学び”について、大阪ではどのように行われ、どう活かされてきたのか、どんな課題があり今後はどのように進めればいいのか。文部科学省初等中等教育局の教科調査官や大阪府教育委員会の指導主事などを歴任し、介護や保育・幼児教育の学びの現場などにも詳しい、菅さんにお話を伺いました。

大阪府内の介護および 保育・幼児教育の変遷

まずは保育・幼児教育について、「幼児教育の重要性と幼児主体の保育が提唱された学校教育法が施行された1947年から、戦後の幼児教育がスタートしました。実際には明治時代から家庭科教育の一部として行われていましたが、長い間、育児や家事は女子に行う教育とされ、後に男女共修となりました」と菅さん。一方、介護教育は、1985年の「高等学校における今後の職業教育の在り方について」という答申から始まり、1999年の学習指導要領の改訂で新教科「福祉」が創設されたことが大きな転換点となったとのこと。菅さんは、「これにより“家庭での介護”から“社会での介護”へと考え方が変わりました」と話します。

エッセンシャルワーカーを 生む、福祉教育は成長産業

大阪府では、1999年以降、多くの高校が福祉教育に取り組んできましたが、年々全体の学校数が減り、統廃合が進んだ影響で専門に福祉を学べ

る高校が減少。菅さんは「福祉を学びたいという生徒の数も減少傾向で、介護や保育の現場の過酷さを取り上げる報道などが、若者の進路選択に影響している可能性があります。ただ、AIの時代になっても、介護を担う“エッセンシャルワーカー”は欠かすことができず、成長産業になっていくと考えられるので、福祉分野の人材不足に対して、今のうちに対策を講じる必要があります」と指摘します。

小学校から学んでほしい、 福祉の大切さ

「介護・福祉職の人材不足の原因として、給料の低さだけでなく、社会構造的な問題もあると考えています。本来は、小学校からの道徳教育の中で福祉の心を育てることが必要なのではないでしょうか」と菅さん。

現在、中学校、高校の家庭科で、認知症や高齢者の生活などについて学ぶようになっていきます。ただ、小学校の家庭科ではあまり触れられず、高齢者との交流の機会を設けてはいますが、それは特別活動や総合的な学習の時間で行われており、教科として学ぶのは中学校からです。菅さんはこの点を指摘し、「特別活動や総合的な学習の時間での一過性の体験ではなく、体系立てたカリキュラムが必要だと考えています」と語ります。

さらに菅さんは、高校から大学の福祉の学びについて、「単位互換制度を活用し、高校で『社会福祉基礎』や『介護福祉基礎』を学んだ場合、大学では

■略歴／大阪府教育委員会指導主事、大阪府教育センター主任指導主事、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官、大阪樟蔭女子大学児童教育学部学部長・教授を歴任。

その科目の単位を認定する」といった、若者が福祉を学びやすくする方法を提案されました。

職場環境の改善を図り、 業界のイメージアップを

さらに別の視点から、「“介護や保育・幼児教育の現場は、明るく働きやすいところ”というイメージに転換したい」と菅さん。例えば、職場内で生産性向上への意識を高め、質の高い支援を行いつつ、働きやすい環境づくりにも取り組んでいる先駆的な施設を紹介するといった、福祉業界をイメージアップさせる取組みを行政などがサポートすることも求められます。それが広まれば、「そういうところで働きたいと思う若者が増えるのではないのでしょうか」と述べました。

そして、菅さんは「子どもや若者が施設を訪問した際に、この仕事の魅力ややりがい、福祉の価値を伝えていくことが大切です。施設の利用者や園児との交流を深めるなどしながら、若い世代の福祉への関心を高めていかなければならない」と、言葉に力を込めました。

福祉・介護の現場で「アシスタントワーカー」活躍中!

アシスタントワーカーとは?

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

7月15日(火)に集合研修、8月19日(火)に個別訪問をおこない、各施設の職員がアシスタントワーカー導入に向けて、熱心に取り組む姿が見られました。今回は、3施設の取組み状況をご紹介します。

社会福祉法人ほしの会 特別養護老人ホーム ライフカーサ

〒557-0034
大阪市西成区松3-12-35
☎06-6661-0999



アシスタントワーカーは日々の掃除や片付けなどを主に担当しますが、施設ならではの工夫として、屋上テラスの環境整備などお願いできないか検討中です。実現すれば、屋上でのレクリエーションの実施や、季節を感じられる空間づくりにつながり、利用者さんやご家族にとっても喜ばれる場になることが期待されます。



社会福祉法人日本ヘレンケラー財団 障害者支援施設 アテナ平和

545-0003
大阪市阿倍野区美草園3-7-2
☎06-6629-2062



アシスタントワーカー採用に向け、日々の仕事の流れを整理するとともに、職場環境改善の一環として、施設内の掲示物を思い切ってすべて外す取組みを進めています。そこから本当に必要な情報を選び直すことで、掲示がすっきりして、見やすくなりました。利用者さんにも職員にもやさしい環境づくりをめざしています。



社会福祉法人まんてん 特別養護老人ホーム らんまん鶴見

538-0053
大阪市鶴見区鶴見5-2-10
☎06-6933-8830



仕事をひとつひとつ書き出して整理をすすめる中で、「自分たちの仕事って意外と多い!」と改めて気づくことができました。そのうえで、特に夕食の時間帯はとても忙しいため、この時間にアシスタントワーカーが加わることによって、「より利用者さんのケアを充実させたい」というはっきりした希望が見えてきました。



「介護のしごと就職フェア」 開催のお知らせ **参加無料**

11月13日(木)あべのハルカスで介護業界への就職・転職を考える方を対象にした「介護のしごと就職フェア」が開催されます。現在アシスタントワーカー導入に取り組んでいる3施設も参加予定です!アシスタントワーカーのお仕事について、直接お話を聞くことができますよ!



介護就職デイ あべのハルカス



日時 **11月13日(木)**

ご覧いただけるのは、10月10日からです▶

場所 **あべのハルカス25階 ハルカス会議室**

就職面接会&相談会 13:00~16:00

予約制

●働きやすい介護施設を目指す21社が集合!

介護のしごと相談コーナー 12:00~16:00

●まずは聞いてみませんか?介護のはなし

映画上映会&セミナー 10:10~12:00

予約制

●僕とケアニンとおばあちゃんたちと。

映画上映会 12:50~15:00

予約制

●ケアニン~あなたでよかった~

申込・問合せ先

ハローワーク大阪東……☎06-6942-4771(部門コード45#)

ハローワーク大阪西……☎06-6582-5271(部門コード41#)

ハローワーク阿倍野……☎06-4399-6007(部門コード44#)

大阪市立十三市民病院 **申込不要** **無料** **マスク着用**

市民公開講座

**呼吸が苦しい。
そんな症状ありませんか？
～喘息の原因と治療から考える健康生活～**

呼吸器内科部長 柳生 恭子さん
3学会合同呼吸療法認定士 阪本 敦子さん

日時 10月11日(土) 10:30～11:30

場所 十三市民病院 9階 すかいルーム

問合せ 大阪市立十三市民病院 地域医療連携室
〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-12-27 ☎06-6150-8000(代表)

糖尿病フェスタ

楽しく学ぶ～生活習慣を見直してみよう～

内容 【体験】頸動脈エコー、骨密度測定、認知症検査・相談、栄養バランスチェック、インスリンデバイス体験、血糖測定など

【講演】医師・理学療法士

日時 11月21日(金) 13:00～16:00

場所 十三市民病院

市民公開ダイアベティス(糖尿病)ゼミナール 2025 **申込不要** **無料**

糖尿病治療はここまで進化した ～週1回で変わる未来～

日時 11月6日(木) 13:00～16:00
(開場 12:30)

場所 大阪市立総合医療センター 3F さくらホール
大阪メトロ谷町線「都島」駅下車、2番出口から西へ徒歩3分
JR環状線「桜ノ宮」駅下車、東出口から北東へ徒歩7分

- 週1回の治療で変わる!より自由な糖尿病療養生活…………… 医師:元山 宏華
- あなたに合った糖尿病治療とは?～週1回の選択肢…………… 薬剤師:前西 始歩
- 週1で無理なくつづける!私の食べ方改革…………… 管理栄養士:大橋 菜々
- 長い目で見る血糖管理～今はやりのCGMってなあに?～…………… 日本糖尿病療養指導士 臨床検査技師:奥村 真弓
- 週1回で治療費が節約できるかも?! 続・習慣3選!…………… 日本糖尿病療養指導士 看護師:田中 愛
- 週1回の30分ウォーキング～30分の運動は長い?短い?～…………… 日本糖尿病療養指導士 理学療法士:隅野 恭史

問合せ 大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 ☎06-6929-1221(代表)

手話通訳あり

依存症について理解を深めるための支援者研修(大阪市)

対象/大阪市内の依存症支援に関わる支援機関・団体職員

大阪市域版OACミニフォーラム

依存症にかかる支援者同士の交流及び研修

日時 10月31日(金) 13:30～17:30

内容 体験談、講話、問題解決しない事例検討会

※問題解決しない事例検討会とは

問題解決を目的とせず、その「人」に対する理解を深めるための「仮説づくり」に取り組みます。

場所 エルおおさか 南館 1023会議室
大阪市中央区石町2丁目5番3号

飲酒と健康を考える会

アルコール関連問題に関する支援者研修

第1回 **日時** 11月11日(火) 14:00～16:00

内容 講話、体験談

第2回 **日時** 12月22日(月) 14:00～16:00

内容 講話、事例検討

場所 大阪市こころの健康センター 大会議室
大阪市都島区中野町5-15-21 都島センタービル3階

申込・問合せ先 大阪市こころの健康センター

☎06-6922-3475 ☎06-6922-8526 ✉kokoro@city.osaka.lg.jp

※FAX・メールでのお申込みの場合は、件名に講座名と本文に①氏名、②参加希望日時、

③所属機関、④所属機関のある区、⑤所属機関の電話番号を明記してください。

申込期限 開催日の2日前まで ※詳しくは市ホームページをご確認ください。

〈申込みメールフォーム〉



大阪市域版
OACミニフォーラム



飲酒と健康を
考える会

講座案内

市民向け講座

大阪市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
介護実習講座 ステップアップ・ テーマ別コース	11月1日(土)、 5日(水)、 8日(土)、 12日(水)、 15日(土)、 19日(水)、 29日(土) 13:00~16:00	大阪市内に在住・在 勤・在学の方で「介護 実習講座入門コース」 の修了者 ※令和6年度以前の 修了者でも受講可	・幸せ介護創造 ファクトリー 代表理事 高山 彰彦 ・応急手当普及員 ・歯科衛生士	・11月1日(土)移動①移乗 ・11月5日(水)移動②ベッド上の介助 ・11月8日(土)移動③車いす操作 ・11月12日(水)応急手当 AED使用方法 ・11月15日(土)食事介助 ・11月19日(水)排泄・着脱介助 ・11月29日(土)口腔ケア	定 員:各テーマ先着20人 受講料:各テーマ100円

福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
障がいのある人の 自己決定とその支援	12月1日(月) 13:30~16:00	大阪市内の福祉施設・事業所 で勤務する職員	武庫川女子大学 教授 與那嶺 司	障がいのある人の『自己決定』がどの ようなものなのか、また、その『自己決 定』にどのような個人・環境要因が影 響を与えるのかを学び、障がいのある 人の意思やニーズに基づいた適切な 支援を考えます。	定 員:36人 締 切:11月10日(月) 受講料:1,500円
相談面接の技術研修	11月10日(月) 11月17日(月) 11月20日(木) 10:00~16:30	大阪市内の福祉施設・事業所 で勤務する職員 ※大阪府主任介護支援専門員 更新研修の受講要件に該当 する資質向上研修(法定外 研修)については大阪府下 の事業所も申込可とする。	京都女子大学 教授 橋本 有理子	対人援助職に必要な倫理や面接に関 する知識・技術を確認し、演習を交え て実践的に学びます。	定 員:1コース54人 締 切:10月20日(月) 受講料:1コース 3,000円
職場における 人間関係研修	12月9日(火) 14:00~17:00	大阪市内の福祉施設・事業所 で勤務する職員	兵庫県 対人援助研究所 主宰 稲松 真人	職場における人間関係をよくするた めには、どのような取り組みが必要か、 また、人間関係を取りづらい職員への 理解と対応を学びます。	定 員:36人 締 切:11月14日(金) 受講料:1,500円

♥ウェルおおさかはーとフェア 12月6日(土)にて開催♥

申込締切▶11月9日(日)17:00まで

講座名・対象	時 間	講 師・内 容	定 員
第2回社会福祉講演会 映画上映会「最強のふたり」 対象:大阪市内に在住・在勤・在学の方	11:00~13:00	パリを舞台に、大富豪で全身まひの男性フィリップと、介護経験のない 移民の青年ドリスとの交流を描いた実話に基づくヒューマンドラマ。身 分や境遇の違いを超えて芽生える友情が、笑いと感動を呼び、人生を 前向きに生きる力を与えてくれる作品です。	先着130人
レギュラーさん講演会 「お笑い×介護=笑顔」 対象:大阪市内に在住・在勤・在学の方	14:00~15:00	講師:レギュラー (お笑いコンビ) リズムネタ「あるある探検隊」で大ブレイクのレギュラーのおふたりが、 介護の魅力を“笑い”とともにわかりやすくお届けします。	先着130人
介護技術講座 〜持ち上げない介護技術を学ぼう〜 対象:大阪市内に在住・在勤・在学の方 で、高齢者の介護に関心がある方	11:00~12:30	講師:大阪府立淀商業高等学校 福祉ボランティア科 市民の皆様を対象とした家庭介護の講座です。 在宅介護でもっとも負担の大きい移動・移乗介護をボディメカニクスを 活用して楽々移動!家庭でできる介護技術を指導していただきます。	先着20人
高齢者にやさしい食事講座 (講義と調理実技の紹介) 対象:大阪市内に在住・在勤・在学の方 で、高齢者の介護に関心がある方	13:30~15:00	講師:大地の会(大阪市内在住地域活動栄養士の会) 管理栄養士 市民の皆様を対象とした家庭介護の講座です。 高齢者の食事を特徴や形態、栄養面から学びます。 介護者も一緒に美味しく食べられる「電子レンジを使った簡単なやわら か食」を実演してご紹介します。ご家庭で介護しておられる方、介護に関 心のある方は是非ご参加ください。	先着20人
自助具製作体験講座 対象:大阪市内に在住・在勤・在学の方	〈第1部〉 11:30~12:30 〈第2部〉 14:00~15:00	講師:特定非営利活動法人 自助具の部屋 高齢者や障がいのある人など、身体が不自由な人の毎日の生活を可能 な限り自分で行えるようにと、さまざまな工夫が施された「自助具」につ いて学びます。	各先着20人

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

申込み・
問合せ先

研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください
市民向け講座のみ電話でも受け付けます

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報



図書紹介

認知症plus転倒予防 第2版 せん妄・排泄障害を含めた包括的ケア

鈴木 みずえ 編 日本看護協会出版会
2025年

せん妄や排泄障害など複数の障害が絡み合った結果、転倒してしまうことが多い認知症高齢者。生活障害に着目しつつ、多職種チームや看護管理・リスク管理の観点から転倒対策をするための解説や事例、最新機器の紹介など、転倒予防の“今”を学べる改訂版。



新版 生活保護ケースワーカーのあなたへ

池谷 秀登 著 全国社会福祉協議会
2025年

ケースワーカーが直面する課題とその向き合い方を解説し、対応力の向上や複雑な制度理解のヒントを提供。新版は、「不正受給」「返還金の取扱い」「世帯分離」「葬祭扶助」について、約70頁を追加。生活保護制度やケースワーカーの業務をより深く理解できる一冊。



認知症の私が、今を楽しく生きる理由(わけ) 「生活の工夫」と家族・仲間の力

丹野 智文 著 中央法規出版
2025年

認知症と診断されて12年経った著者が、進行を自覚しつつも、今も仕事や啓発活動に取り組める理由と工夫を伝える。日々を楽しく過ごしたり、進行の不安を軽減するヒントのほか、ピアサポートの場面例も収載。当事者も家族も「諦めない」ためのヒント集。



DVD紹介

認知症と生きる 希望の処方箋

RISE 110分 2025年

音楽と認知症をテーマに描いたドキュメンタリー。まだあまり知られていない音楽療法にスポットを当て、名古屋の病院で働く2人の音楽療法士取材。相手の病状と人生を鑑みながら適切な音楽療法を施していく。すると、そこには、誰も予想しなかった結果が。



ペコロスの母に会いに行く vol.1～vol.3

イメージフィールド 各12分
2024年

認知症介護で悩む世代の日常をユーモアに描いた「ペコロスの母に会いに行く」をアニメ化。認知症の母みつえ(80代)と息子ゆういち(60代)を中心に、その周りの人たちとの愛情に溢れた介護生活の日々を描いた作品。原作は岡野雄一のエッセイ漫画。



百花

東宝 104分 2025年

葛西泉と母・百合子は、過去のある「事件」をきっかけに互いの心の溝を埋められずに過ごしてきた。そんな中、突然、百合子が不可解な言葉を発するようになり、認知症と診断される。ある日、泉はあの「事件」の真相が綴られた「日記」を見つける。母の記憶が消えゆくなか、泉は封印された記憶に手を伸ばす。



募集!!

あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

12月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切／12月5日(金)
- 受付場所／大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所／2階 図書室



リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を無料で持ち帰りいただけます!

- 開催場所／2階(予定)
- 開催期間／12月6日(土)
10:30～15:30まで

毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!



大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出してあります。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)

開室時間／月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00、金曜日 9:30～19:00

利用資格／貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

休 室 日／日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先／☎06-4392-8233

お電話で図書・DVDの予約も承ります



新着情報はこちら▲



すこやか大阪 21



健康と思う今こそ、受けよう検診!

大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人がなる病気、早期発見・早期治療のため、定期的にがん検診を受けましょう。

■大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度※1
胃がん検診	胃部エックス線検査	取扱医療機関	500円	当該年度末現在50歳以上の大阪市民(年度中1回)
	胃内視鏡検査	取扱医療機関	1,500円	当該年度末現在50歳以上で前年度に受診されていない大阪市民(2年度に1回)
大腸がん検診	免疫便潜血検査	保健福祉センター	300円	当該年度末現在40歳以上の大阪市民(年度中1回)
		取扱医療機関		
肺がん検診	胸部エックス線検査 (ハイリスク者には喀痰細胞診検査も併せて実施)	保健福祉センター	無料 (喀痰細胞診検査400円)	当該年度末現在40歳以上の大阪市民(年度中1回)
		取扱医療機関		
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査	取扱医療機関	400円	当該年度末現在20歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
乳がん検診	超音波検査	取扱医療機関 ※視触診あり	1,000円	当該年度末現在30歳代の女性市民(年度中1回)
	マンモグラフィ	保健福祉センター ※視触診なし	1,500円	当該年度末現在40歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
		取扱医療機関 ※視触診の有無は医療機関により異なる		
前立腺がん検診	血液検査	取扱医療機関	1,000円	当該年度末現在50・55・60・65・70歳の男性市民(年度中1回)

〈お問い合わせ〉大阪市健康局健康推進部健康づくり課(がん検診専用電話) ☎06-6208-8250

■がん検診以外の検査も実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度
B・C型肝炎ウイルス検査	血液検査	取扱医療機関	無料	20歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検査(大阪府が実施するものに限らない)を受けたことがない方。また大阪府肝炎フォローアップ事業に同意する方。
骨粗しょう症検診	踵骨超音波測定法	保健福祉センター	無料	当該年度末現在18歳以上の大阪市民※1
歯周病検診	問診・口腔内診査	取扱歯科医療機関	500円	当該年度末現在20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の大阪市民※1

※1 いずれの検診も、当該年度に加入保険や勤務先等で同等の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方、同一年度中に自治体、加入保険や勤務先等で同等の検診を受診済みの方(自費や診療によるものは含まない。ただし、受診頻度が2年度に1回の検診は前年度受診済みも含む)は対象外です。また、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ等でご確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。

〈お問い合わせ〉大阪市保健所感染症対策課(肝炎ウイルス検査) ☎06-6647-0656

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(骨粗しょう症検診) ☎06-6208-9943

(歯周病検診) ☎06-6208-9963

■大阪市国民健康保険被保険者の方へは生活習慣病の健診も実施しています。

特定健診	実施場所	料 金	対象者
	保健福祉センター等 取扱医療機関	無料 (要受診券)	40歳以上74歳までの大阪府国民健康保険被保険者の方(来年度の3月31日までに40歳になる方を含みます)

〈お問い合わせ〉大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

今月の自助具

プルトップ缶詰オープナー

主な適応疾患・対象者 ▶ 片手が自由に使えない方、握力の低下した方。高齢者等

〈機能・特徴〉

- 指の力が無くても、缶詰のプルトップを容易に開ける事ができる。
- 片手でも缶詰のプルトップを容易に開ける事ができる。
- 缶詰のサイズに関係なく開ける事が出来る。
(限界はあります)

〈使い方〉

- プルリングを少し起こし、操作スタンドの爪に掛ける。
- プルリングを爪に掛けただまま、缶詰全体をを水平に起こし蓋の端を切り開く。
- 缶の縁を滑り止めに押し当て、缶を傾けて、蓋の開口部を広げる。
- 最後に缶を下に引き下げて、蓋を切り離す。



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎ ☎06-4981-8492 (月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活

応援グッズ

移動を快適に

リクライニング時の背ずれを抑制、新ディルト&リクライニング車いす



◆モダンリッチスタイル

リクライニング時に背中がズレにくく、安定した座位が保てる車いす。介助ブレーキに加えて足踏み式ブレーキを搭載し、前方・後方どちらでもブレーキがかけられます。

もしもの転倒を防ぐ、前後安心の車いす



◆転ばないイス

立ち上がる際に自動でブレーキがかかり後ろへの転倒を防ぎます。フットサポートの上で立ち上がってもフットサポートが下がり、前に倒れにくくなる前後安全機能付きの車いすです。

利用者の快適性、移動の軽快さが大きく進化。



◆ネクストコア2

背中全体に沿いやすい背もたれ形状、お尻の後ろのすき間をクッションごとフィット、座シートの奥行調整など利用者の快適性を極めた、スリムでコンパクトな車いすです。

問合せ

公益社団法人関西シルバースervice協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15

大阪府社会福祉会館1階

☎・☎06-6763-1480

HP <https://kansil.jp>

今年も開催します! “ふくし”に出会う! 笑顔がひろがる! ウェルおおさか・はーとフェア2025

入場
無料

12月6日(土) 10:30~15:30

会場 大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

♡映画上映会 **事前申込**

「最強のふたり」

事故で全身麻痺となった富豪フィリップと、スラム出身の青年ドリス。何もかもが違うふたりの、ありえない出会い、やがて二人は最強の友に。笑いと涙が止まらない! 映画史を塗り替えた感動の実話です。

©2011 SPLENDIDO/GAUMONT / TF1 FILMS PRODUCTION/TEN FILMS/CHAOCORP



♡レギュラーさん講演会 **事前申込**

「お笑い×介護=笑顔!!」

リズムネタ「あるある探検隊」で大ブレイク! 現在は、介護職員初任者研修やレクリエーション介護士の資格を習得し、全国で「笑い×介護」の講演活動を展開中。介護の魅力を“笑い”とともにわかりやすくお届けします!



- ♡見て・触れて・相談できる! 福祉体験コーナー
- ♡介護技術講座〜持ち上げない介護技術を学ぼう〜
- ♡高齢者にやさしい食事講座(講義と調理実技の紹介)
- ♡自助具製作体験講座
- ♡ゆ〜とあい子どもの体験コーナー
(実験・アート(SDGs)工作)
- ♡リサイクルブックフェア
- ♡絵本読み聞かせ
- ♡ミニステージ(踊りや演奏など楽しいパフォーマンス)
- ♡たこ焼き・クレープ・弁当・パン・手作り小物などの販売
- ♡スタンプラリー(先着300名様に景品プレゼント!)

楽しい
イベントが
たくさん!!

《申込方法》

電話・ホームページ・メールにて受付

☎06-4392-8201 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

- ★メールでお申込みの際は①講座名
(※自助具製作体験は「第1部」または「第2部」も記載)②名前③住所④年齢
⑤電話番号を記入してください



メールQR



ホームページQR

《申込締切》11月9日(日) 17:00まで

《申込・問合せ先》大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272

大阪市内の福祉活動の実践報告

『福祉の今を知る!』

参加費無料
要申込

～同心会社会福祉研究受賞論文より～

日時／10月25日(土) 13:30~16:10

会場／大阪市社会福祉研修・情報センター5階大会議室

大阪市西成区出城2-5-20 申込締切／10月9日(木)

定員／60名(応募多数の場合は抽選)

社会福祉関係事業所に勤務する方、大阪市内在住・在勤・在学の方

第1部 基調講演 13:35~14:35

生活困窮者自立支援から地域共生社会へ ～社会保障の新たなステージ～

講師／厚生労働省 大臣官房参事官 本後 健氏

1997年厚生省入省。社会・援護局に配属、社会福祉基礎構造改革に携わる。老健局計画課課長補佐、静岡県厚生労働部障害者支援局長を経て、2015年より社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長、社会福祉法と生活困窮者自立支援法の改正業務を担当。その後、厚生労働大臣秘書官、保険局高齢者医療課長、子ども家庭局保育課長、こども家庭庁成育局保育政策課長、厚生労働省障害保健福祉部企画課長を経て、2025年7月から現職。



第2部 実践報告 14:45~16:10

大阪市内の福祉活動の実践報告

実践報告コーディネーター・まとも

国際医療福祉大学大学院教授

大阪市立大学名誉教授 白澤 政和氏

大阪市
社会福祉研究
第47号
おひとり1冊
プレゼント



《主催・お問合せ・申込先》

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp ウェルおおさか



クリエイティブ関連のお悩み解決は
「ウェルおおさか」も制作している
アド・エモンにぜひお任せください!!

チラシ	パンフレット	小冊子
カタログ	会社案内	各種PRツール
取材・撮影	印刷	アニメーション動画

and more...

納得のご予算でお客様のイメージを
トータルでカタチにします!!

TOTAL CREATION
AD-EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号

TEL 06-6358-1010 FAX 06-6358-1011 ✉info@ad-emon.com

http://www.ad-emon.com



(広告)

CENTER INFORMATION 大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間／9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日)※毎週金曜日19:00まで

休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の 問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の 問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の 問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00



貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

[ウェルおおさか](#) [Q 検索](#)

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。
電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200

FAX 06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。
FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。
詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。

会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。

ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

時間区分			午前 9:30～12:30	午後 13:00～17:00	夜間 18:00～21:00	全日 9:30～21:00
室区分	利用人員のめやす					
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
5階	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

交通

ご来所には【大阪シティバス】【JR】【大阪メトロ】をご利用ください

大阪シティバス

【長橋二丁目】バス停すぐ

52系統(なんば～あべの橋)

【中開三丁目】バス停徒歩5分

80系統(鶴町四丁目～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線

【今宮】駅から徒歩約10分

大阪メトロ・四つ橋線・御堂筋線

【花園町】駅(①・②出口)から徒歩約15分

【大國町】駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024

大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX 06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



X(旧Twitter)もチェック



「ウェルおおさか」に
広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201

FAX 06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



人権啓発キャッチコピー

【テーマ】高齢者をめぐる人権

経験をつなぎ、未来を築く

谷垣 久徳さん(令和6年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 一般の部 佳作)